

高校生、地域活性で日本を盛り上げる

「日本高校会議所第1回総会」

2代目会頭に堀川真帆さん(下田高校南伊豆分校)



第2代堀川真帆会頭
(下田高校南伊豆分校)

日本高校会議所第1回総会が4日、富士宮市民文化会館小ホールで開かれた。総会には北海道や明石市、千葉県、藤枝北高校、下田高校南伊豆分校や地元富士宮高校の約60人の生徒と関係者ら110人が出席し、各チームが「第1回高校生地域活性化プロジェクト」発表大会で発表を行なった。

経た6チームは、地域興しや農業経営、高校



記念すべき第1回総会で

会議所設立の軌跡や里山の塾運営、過疎化地域活性での高校生農家民泊への挑戦や環境保護活動など様々な観点から独自性を打ち出したプレゼンテーションを行ない、会場からは大きな拍手が沸き起こった。また、お菓子やお茶で乾杯した交流会で

選び方教えます
ななくさ会
富士宮市食育ボランティアななくさ会(遠藤天会長)は2日、富士宮市保健センターで「おいしい野菜選び教えます」をテーマに講習会を実施した。同会では「食で育もう生きる力」と題の健康を「スローガンに、講習会や料理教室を通して地域の食育活動の推進に努めている。



楽しいトークで進められた講習会

は、各校の交流や自己紹介などが行なわれ、高校生らしい雰囲気での交流が実施された。最後に日本高校会議所のペンントを作成した富士宮高校への感謝状贈呈と、ロゴ発表で堀川真帆さん作品が表彰された。
続いて下田高校南伊豆分校3年生の堀川真帆さん(17)が第二代会頭として挨拶し、日本高校会議所会頭に決定したと発表が行なわれ、堀川さんは「会頭として様々なプロジェクトを企画し、少しでも地域のために役に立ちたい」と抱負を語った。
同会議所は高校単位でなくエリアでの高校生集合体となるため、高校生を掲載しないエリアがあり、次期事務局は賀茂地区となる。高校生地域プロジェクト発表結果は次のとおり。

山岳遭難事故発生と救助
富士宮警察署は5日午後、富士山富士宮口新七合目で奈良県磯部在住の団体職員北村守さん(45)が遭難し、救助されたと発表し、同日はJA富士宮ファーマーズ直販店の中島恵一郎課長を講師に招き、約30人の会員が、プロの目から見た、おいしい野菜選びのコツについて学びを深めた。
昨日はJA富士宮ファーマーズ直販店の中島恵一郎課長を講師に招き、約30人の会員が、プロの目から見た、おいしい野菜選びのコツについて学びを深めた。

山岳遭難事故発生と救助
同日はJA富士宮ファーマーズ直販店の中島恵一郎課長を講師に招き、約30人の会員が、プロの目から見た、おいしい野菜選びのコツについて学びを深めた。
昨日はJA富士宮ファーマーズ直販店の中島恵一郎課長を講師に招き、約30人の会員が、プロの目から見た、おいしい野菜選びのコツについて学びを深めた。

ビュリツターの夢
「立秋」
7日、暦のうえで立秋となった。現在、日本列島は依然猛暑が続き、6日も34度越えなど火がつくような暑さだった。
スマートホンに「端末機が高温となったため、カメラ機能を閉じます」というエラーメッセージが出たのを初めて見た。▽だが朝や夜、わずかな秋の気配を鋭い感性で気づいた日本人の季節への嗅覚は、あなどれない。
秋の語源は「収穫が飽き満ちる」「空が清明(あきらか)」「草木が紅く(あかくなる)」などがあるそうだ。
この頃から暑さは残暑という表現に変わるという、言葉の上ではまた一歩、秋が近づいていることが少し嬉しい。

山岳遭難事故発生と救助
同日はJA富士宮ファーマーズ直販店の中島恵一郎課長を講師に招き、約30人の会員が、プロの目から見た、おいしい野菜選びのコツについて学びを深めた。
昨日はJA富士宮ファーマーズ直販店の中島恵一郎課長を講師に招き、約30人の会員が、プロの目から見た、おいしい野菜選びのコツについて学びを深めた。

家族暮から大規模暮まで
JAおもしろやり会館にお任せ下さい。

おもしろやり会員とは
・組合員(1口5,000円から)又は
・おもしろやり定積のご契約者

「想い、伝えたい…」
事前相談随時受付中!
お気軽にご相談下さい 出張OK!

最新ニュース!
「なごみ別館」完成!
~ 数人での別れも可能です ~

株式会社 成和建设 TEL.0544-65-2788 FAX.0544-65-2882